

2023年4月7日

報道関係各位

学校法人神奈川歯科大学

日本橋三越本店に開院
「神奈川歯科大学附属 歯科・健脳クリニック日本橋」
式典および内覧会のご案内

- 2023年4月30日(日)、日本橋三越本店 新館5階に開院
- 西洋医学(医科と歯科の連携)と東洋医学(鍼灸)を融合したオーダーメイドのプロフェッショナル・チーム医療を提供
- 超高齢化社会に向き合う医療体制と50年間持続可能な事業を創発する取り組みに際し、互いに連携・協力し合うコンソーシアムに約30社が賛同

学校法人神奈川歯科大学(所在地:神奈川県横須賀市稲岡町82番地、理事長:鹿島 勇)は超高齢化社会に向き合う“健康長寿社会を支えるプロフェッショナル組織”として、医科と歯科、鍼灸を連携・融合させたクリニック「神奈川歯科大学附属 歯科・健脳クリニック日本橋(以下、歯科・健脳クリニック日本橋)」を2023年4月30日(日)、日本橋三越本店新館5階に開院いたします。

また、「健脳＝認知症予防」をコンセプトに50年間持続可能な事業に発展させていくために、互いに連携・協力し合うコンソーシアムには、約30社の企業・団体が賛同、協定に合意しました。

このたび、歯科・健脳クリニック日本橋および本コンソーシアムへのご理解の一助となりますことを願って、式典および内覧会を4月25日(火)に開催いたします。

報道関係者の皆さま方におかれましては、お忙しいなか誠に恐縮ではございますが、ご参加くださいますよう謹んでご案内いたします。

※お手数でございますが、ご参加いただける報道関係者の方は、PR事務局(担当:新野)までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

【日 時】 2023年4月25日(火) 11時00分～13時00分

【会 場】 下記、3箇所で開催いたします。

- ① 式典 : 日本橋三越本店 本館6階 「三越劇場」
受付 : 日本橋三越本店 本館6階 「三越劇場ロビー」
- ② 懇談&取材 : 日本橋三越本店 本館7階 「特別食堂 日本橋」
- ③ 内 覧 : 日本橋三越本店 新館5階 「歯科・健脳クリニック日本橋」

最寄り駅からのアクセス



店内のご案内



【プログラム】

11:00～12:00 【式典】

1. 始めに 学校法人神奈川歯科大学 理事長 鹿島 勇
株式会社三越伊勢丹 執行役員三越日本橋本店長 丸井 良太
2. クリニックコンセプトの説明
神奈川歯科大学附属 歯科・健脳クリニック日本橋 院長 児玉 利朗
3. スタッフ紹介
4. 開院に寄せて
神奈川歯科大学 特任教授 花田 光司

5. コンソーシアム参画企業・団体のご紹介

名称（順不同）

- ・株式会社 田中歯科機械店
- ・K.K.Medical 株式会社
- ・PST 株式会社
- ・株式会社モリタ
- ・シミックホールディングス株式会社
- ・株式会社 FOD
- ・株式会社ディー・エス・アイ
- ・デンツプライシロナ株式会社
- ・株式会社日向和田精密製作所
- ・ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社
- ・ストローマン・ジャパン株式会社
- ・株式会社サリバテック
- ・ササキ株式会社
- ・オリンパス テルモ バイオマテリアル株式会社
- ・セイリン株式会社
- ・A.R.メディコム・インク・アジア・リミテッド(メディコムジャパン)
- ・株式会社スタティックジャパン
- ・インタセクト・コミュニケーションズ株式会社
- ・エコロシティ株式会社
- ・㈱オンワードクリエイティブセンター
- ・タカノ株式会社
- ・インディバークリニック
- ・株式会社シンテン
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 コンシューマーカンパニー
- ・株式会社 ビックカメラ
- ・株式会社 三越伊勢丹ホールディングス

6. 写真撮影

12:00～13:00 【懇談/取材】クリニック内覧前後のご歓談・取材の場にご利用ください。

【内 覧】数名ずつクリニックへご案内いたします。

■神奈川歯科大学附属「歯科・健脳クリニック日本橋」について

住 所 〒103-8001 東京都中央区日本橋室町1-4-1 日本橋三越本店 新館5階

開院日 2023年4月30日

院 長 児玉 利朗

診療時間 AM10時～13時／PM14時～18時

電話番号 03-6665-0825

診療科目 高齢者内科・脳神経内科

歯科・歯科口腔外科・矯正歯科

■主な連携医療機関

・慶應義塾大学病院予防医療センター

〒165-8582 東京都新宿区信濃町35

※2023年11月より麻布台ヒルズ(東京都港区)へ移転予定

・南東北グループ 総合東京病院

〒165-8906 東京都中野区江古田3-15-2

・徳洲会グループ 湘南鎌倉総合病院

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370-1

・IMSグループ 横浜新都市脳神経外科病院

〒225-0013 神奈川県横浜市青葉区荏田町433

・医療法人社団MER インディバークリニック

〒108-0022 東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦ビル5F

【本件に関するお問合せ】

神奈川歯科大学「歯科・健脳クリニック日本橋」

PR事務局：合同会社マッシュ 担当：新野 雅子

Mobile: 080-3012-7306 Mail: niino@masc-mn.com

出席者名簿

神奈川歯科大学		企業様		
1	神奈川歯科大学理事長	鹿島 勇	セイリン株式会社	取締役副社長 小倉 洋介
2	クリニック日本橋院長	児玉 利朗	〃	国内営業部 課長 八木 賢訓
3	認知症・高齢者総合内科教授	眞鍋 雄太	PST株式会社	代表取締役 大塚 寛
4	クラウンブリッジ補綴学分野主任教授	木本 克彦	〃	事業推進部マネージャー 遠藤 弘司
5	歯周病学分野主任教授	小牧 基浩	株式会社モリタ 横浜支店	支店長 中尾 淳
6	顎・口腔インプラント学分野主任教授	河奈 裕正	〃	リーダー 渡辺 嘉也
7	神奈川歯科大学特任教授	菊地 和泉	オリンパステルモバイオマテリアル(株)	営業2部 部長 小島 英司
8	特任教授/鍼灸臨床センター長	高木 真弥	〃	営業2部 歯科学術企画 中村 奈都美
9	鍼灸臨床副センター長	高木 梨奈	株式会社スタティックジャパン	代表取締役 渡辺 秀治
10	歯科・健脳クリニック技師 兼事務長	大竹 祥雄	〃	取締役 佐々木 正人
11	歯科衛生士 兼コンシェルジュ	竹村 彰子	ストロマン・ジャパン(株)	エリア マネージャー 宮内 隆幸
12	看護師	麻生 浩美	〃	テリトリーマネージャー 岩丸 竜也
13	歯科衛生士	岡口 佳愛	株式会社サリバテック	取締役CMO 田中 明彦
14	教養教育学分野 教授	板宮 朋基	〃	営業部 大澤 博昭
15	教養教育学分野 講師	中野 亜希人	ササキ株式会社川崎支店	営業チーフ 阿由葉 光
16	眞鍋教授秘書	坪田 花野子	シミックホールディングス(株)	寺島 正美
17	企画推進室室長	勝野 賢一	ノーベル・バイオケア・ジャパン(株)	栗村 公男
18			〃	安藤 直樹
19			株式会社田中歯科器械店	部長 櫻井 純二
20			インタセクト・コミュニケーションズ(株)	営業統括コンサルティング本部 本部長 塔筋 栄作
21			K.K.Medical(株)	取締役 事業統括本部長 川田 諭
22			〃	医療連携部 部長 中野 楓
23			(株)オンワードクリエイティブセンター	営業部 木村 憲行
24			〃	小林 一
25			インディパーククリニック	神奈川歯科大学特任 佐藤 清
26			〃	理事長 岩切 大
27			〃	秘書 野田 陽子
28			株式会社シンテン	社長 玉峰 伸典
29			株式会社Dsi	代表取締役 佐藤 浩志
30			株式会社 ビックカメラ	法人営業部 田島 憲一
31			〃	関連事業本部 副本部長 中西 敏広
32			神奈川新聞社	クロスメディア営業局 出版メディア部 手嶋 修一
33			合同会社マッシュ	新野 雅子
34			デンツプライシロナ(株)	濱地 高明

第1回 歯科・健脳クリニック日本橋 コンソーシアム・ミーティング

□日 時：令和5年4月6日（木）16:00～

□場 所：横浜ベイシェラトンホテル5F 【日輪】 懇親会【柏】

□出席者：別紙添付

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ プログラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

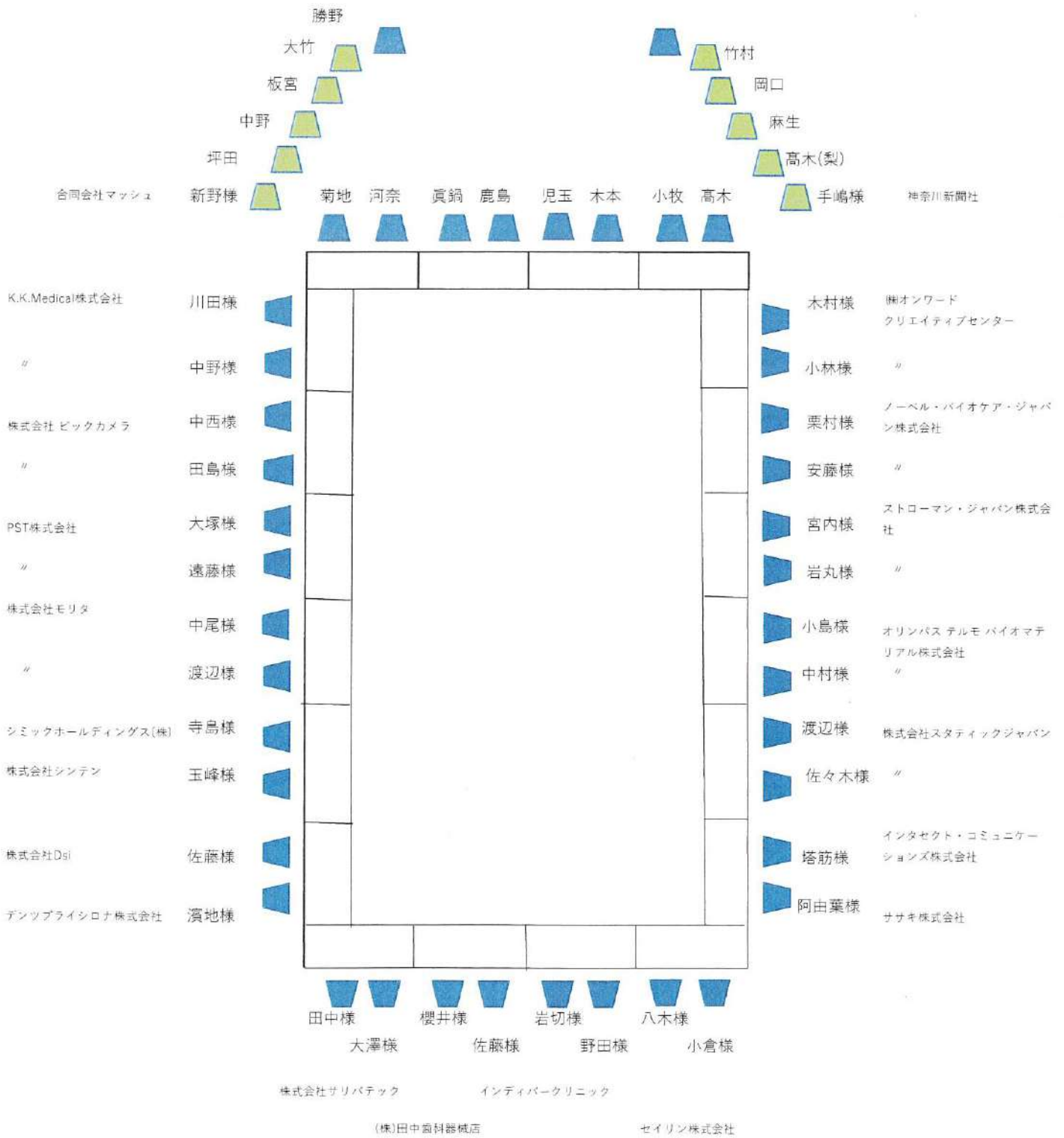
進行 企画推進室 勝野 賢一

- | | | | |
|------------------|------------------|-----|-------|
| 1) 未来への展望 | 学校法人神奈川歯科大学 | 理事長 | 鹿島 勇 |
| 2) コンセプト | 歯科・健脳クリニック日本橋 | 院長 | 児玉 利朗 |
| | | 副院長 | 眞鍋 雄太 |
| 3) スタッフ紹介 | | | 勝野 賢一 |
| 4) 具体的な連携について | | | 勝野 賢一 |
| 5) 4月25日 内覧会について | 合同会社マッシュ | | 新野 雅子 |
| 6) 企業プレートについて | オンワードクリエイティブセンター | | 木村 憲行 |
| 7) その他 | | | |

テーブル20卓：40名

他：12名

コンソーシアム打合せ会場



出入口



歯科・健脳クリニック日本橋



神奈川歯科大学

歯科・健脳クリニック日本橋

院長 池田 伸樹

・ 内科

・ 外科

・ 小児科

・ 皮膚科

・ 泌尿器科

・ 産婦人科

・ 眼科

・ 耳鼻科

・ 歯科

・ 矯正科

・ 口腔外科

・ 歯周病科

・ 歯肉科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

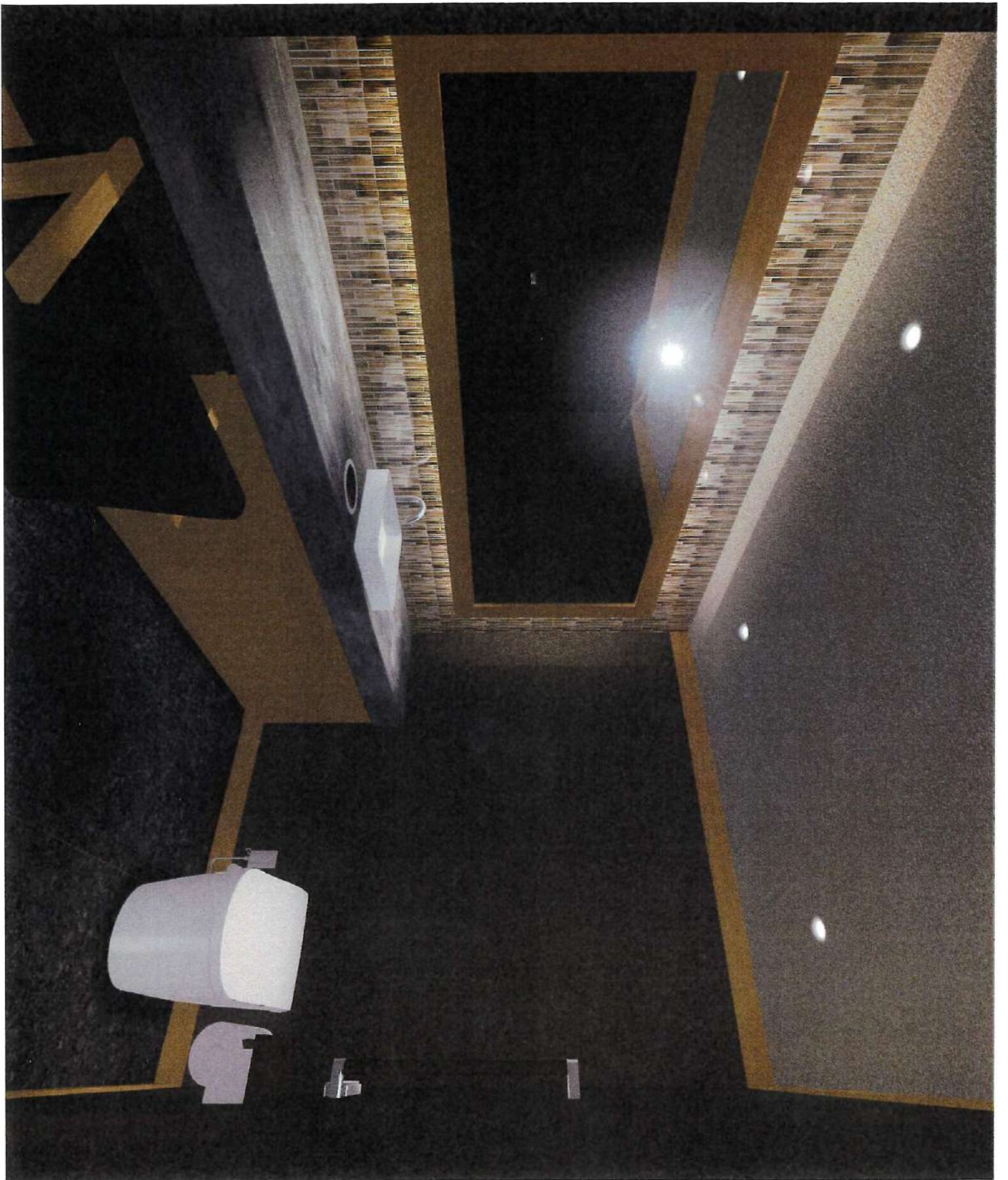
・ 歯槽膿漏科

・ 歯槽膿漏科

TEL: 0466-55-0925
FAX: 0466-55-0925
11:00-18:00
〒110-8501 東京都港区日本橋1-1-1
0466-55-0925









神奈川歯科大学 理事長

鹿島 勇

限界を超えてその先へ

新年明けましておめでとうございます。

世界中に蔓延したコロナ、ロシアのウクライナ侵攻、各地で発生する異常気象や地震そして内戦や国際紛争による食料危機等、私達は突然に歴史の転換点に立つことになりました。これらの事象は、物事の価値観や社会のしくみの劇的な変化そして過去の経験や実績が通用しない時代の到来を示唆します。

そこで今年の標題は、今年の beyond the next (次のその先へ) からジャンプして、beyond the limits “限界を超えてその先へ” としました。

人口動態と鰐(ワニ)の口

2025年、団塊の世代(1947～1949年生まれ)全員が75歳以上の後期高齢者となります。さらに2040年には、団塊ジュニア世代(1971～1974年生まれ)が65～70歳を迎えます。人生100年時代を考えた時、日本は50年間に渡って超高齢化社会が続くこととなります。

一方、国の税収と歳出とのバランスは、1990年から現在まで大きく乖離し、長年に渡って赤字が続いています。その大きく開いた赤字の状態は、ワニの口と比喩されています。この赤字を補填するために発行された国債は、今や1000兆円を超える国の借金となっています。その張本人が年金、医療、介護等の社会保障制度であることは周知の事実です。

そこで、人口動態とワニの口を重ね合わせて日本の未来図を描いた時、新たな社会的問題が浮かんできます。それは、65歳以上の5分の1が認知症に罹患することから、その医療と介護によってワニの口がさらに大きく開いていくことです。しかもその状況が50年間続くこととなります。

歯科・健脳クリニック日本橋

私達は、日本の人口動態と財政状況を背景に、将来社会的問題となる認知症に着目してきました。認知症とは、疾患の名前ではなく病気の状態のことを指します。病状は、“物忘れ”等の認知機能低下から日常生活に支障をきたす認知症まで様々です。そして、認知症と口の中の環境(咬み合わせ、オーラルフレイル、歯周病等)とが密接に関係していることが明らかに

なってきました。

そこで本学は、新しい発想の医療機関の創発を目指して、350年の歴史を有する老舗百貨店である三越伊勢丹と提携を結びました。そして、口腔疾患と脳機能を組み合わせた歯科・健脳クリニックを日本橋三越本店内に開設することになりました。この医療機関の立ち上げは日本で初の試みとなるでしょう。三越伊勢丹は、このクリニックを顧客およびその家族や関係者との新しい信頼関係構築の手段として利用することができます。一方本学は、異業種とのコラボによる新しい形の医療系大学としてのブランド化を図ることができます。また、認知症と口腔疾患の早期発見と治療は、医療保険増大の抑制に繋がります。それはパッケージ化された医療技術として海外への輸出が期待されます。

この構想は、マニフェスト・デスティニー(定められた運命)ともいえる日本の超高齢化社会が抱える課題への挑戦、といっても過言ではありません。

成功の方程式

一般的に企業が1つのプロジェクトを立ち上げた時、事業の三原則(人材・戦略・マーケティング)と経営の三原則(集客・生産性・単価率)そしてヒットの三原則(Only one・好奇心・感動)である3つの円が交わる部分の大きさでその成否が決まると言います。

今回、立ち上げた歯科・健脳クリニックは、3つの円の各キーワードを最大公約数で充足していることを確信します。さらに成功を確実にするためには、もう1つの交点を最大にする必要があります。それは、“Patient(患者様)からCustomer(お客様)へ”、“大学のアカデミズムから匠のアカデミズムへ”そして“個人プレーからチームプレーへ”の新たな3つの円と考えます。

すなわち、従来の医師と患者との関係を超え、お客様の要望を満足させる医療人へと自分自身を変革することが必要です。そして、臨床の現場で長年培ってきた専門性を軸に、匠あるいは職人の集団と形容されるチームとしての医療を提供することです。そのホスピタリティを通して、お客様にクリニックの価値を認知していただき、さらに信頼し利用していただくことによって初めて成功と言えるでしょう。

おわりに

3年間に渡って未来化構想の最終着地点を探し求めてきました。数々の話や提案があるものの、交渉に1年かけても締結には至りませんでした。しかし昨年の4月、不思議な運命とも言える出会いがありました。初対面から3ヶ月後には仮契約を結び、今年の3月には開院の運びとなりました。このセレンディピティ(素敵な偶然)に感謝しながら理事長として14回目の新年を迎えます。